

地区社協だより

第48号

発行日 令和7年7月15日
発行 西諫早小学校区
社会福祉協議会
発行責任者 林 田 弘 喜
(電) 0957-26-6122

就任のご挨拶



真津山出張所（西諫早公民館）

所長（館長） 今泉 全晶

このたび、真津山出張所

所長兼公民館館長を拝命い

たしました、今泉と申します。微力ではございますが、地域の皆様と共に、より住みよいまちづくりに努めてまいります。社会福祉協議会の活動は、地域の支え合いの要であり、皆様の温かいご協力により成り立っています。今後も、子どもから高齢者まで、誰もが安心して暮らせる地域づくりを目指し、出張所・公民館としても積極的に関連し、さまざまな事業に取り組んでまいります。

地域の子どもたちには、夢や希望を持つてのびのびと成長してほしいと願っております。また、高齢者の皆さまには、これまでのご尽力に感謝するとともに、今後も地域の知恵と力をお貸しいただければ幸いです。皆様と力を合わせ、より良い地域社会の実現に尽力してまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

地域の

子ども教室

コーディネーター 陣野 恵

地域子ども教室は平成23年9月15日に開校され、吉本正光さんがコーディネーターで設立に貢献されました。

今年で15期生を迎え土橋重利さん、それに私と代表者が引き継いで頑張っています。名称が「放課後子ども教室」から今は「地域子ども教室」に変わりました。

今年は3年生男3名女8名、4年生男1名女1名、5年生男2名女3名、6年生男3名女5名、合計26名の児童が入会してくれました。

活動は毎週木曜日の午後3時30分から4時30分まで、西小体

育館・理科室、運動場で行っています。

内容は踊り9回、ドッチビー5回、自然科学遊び5回、昔遊び5回、軽スポーツ（ミニ大學生5回）、計29回実施するよう計画しています。

今回、表彰状をいただき、地域子ども教室に関わって下さる皆様に感謝して、これからも力を注いでいきたいと思っています。有難うございました。



◎子ども教室

山口 しょうま

ほか、子ども教室にはいった理由は、友だちや地域の人との交流や遊びがおもしろいと思ったからです。

入ってみてみんなといっしょに遊んだりしてたのしかったです。また、自然科学では、勉強でき自然の色々なことを学ぶことができ、うれしかったです。今後も楽しみにしています。

◎地域子ども教室

濱本 菜緒

友達にさそわれて興味があまりなかったけれど地域の方や他の学年の人との交流が大切だと思い入ってみました。入ってみてドッチビーなどの遊びが楽しかったし学ぶこともたくさんあってよかったです。

令和7年度 諫早市立西諫早小学校 第50回運動会

1の1 よつや こずえ

かけっこで、さいごまでちから
いっぱい使いました。

だんすをえがおでおどりました。
ぽんぽんが、きらきらできれいでした。

たまいれのたまが、かごにはいっ
てうれしかったです。

たのしいうんどうかいでした。

1の1 なかはら みなみ

たまいれでいっぱい使えてうれし
かったです。

かけっこは、さいごまでちから
いっぱい使って、2ばんでうれし
かったです。

だんすは、にこにこえがおでおど
りました。

おうちのひとに、じょうずにでき
たねとほめてもらってうれしかった
です。

1の2 なかむら こうた

たまいれでかったことが、うれし
かったです。だんすががんばりまし
た。たまいれは、66こはいりまし
た。ぽくもいれました。

『かった。』

と、おおきなこえでいいました。

1の2 いいだいお

たまいれで、かったのがうれし
かったです。だんすが、たのしかっ
たです。ぽ

んぽんを
いっぱい
ふって、
にこにこ
でおど
りました。

りりか
さんとふ
りぐみし
て、はあ
をつくっ
たのしか
たです。



団長としてがんばったこと

6年 藤山 郁真

ぼくが団長としてがんばったこと
が2つあります、

1つ目は、声出します。団長とし
ては、かしくないよう、選手宣せ
いや、えんを大きな声で言う練習をし
てきました。

2つ目は、行進やする時のし
せいに気をつけたことです。団長は、
みんなの前に出て目立ちやすく、地
域の人や保護者の方によく見られる

ので、みんなのお手本になるよう心
がけました。

団長をした経験を生かし、みんな
を引っばって行けるリーダーを目指
してこれからもがんばりたいです。

運動会でがんばった事

6年 鶴崎 龍聖

僕が運動会でがんばった事は2つ
あります。1つ目は、つな引きで
す。僕たちのチームは練習の時、す
べてしまいい、負けてしまう事が、
多かったです。なのですべらないよ
うにするためにどのようにすればよ
いか考えました。そこで体を低く
し、前との間かくを取ってつなを引
くことが大事と思いました。この事
を意識して練習を重ねました。運動
会本番は練習のせいかをはつきし全
力で取り組みました。たくさん練習
したおかげで本番では勝つ事ができ
ました。

2つ目は応援です。僕は応援が苦
手で声をうまく出す事が、できませ
んでした。なので声を出す練習を毎
日しました。みんなに聞こえる声
を出すにはどのような事をすればよ
いか考えました。そこで僕は声をろ
くおんした後に返してどのような声
をすれば良いかくり返しました。本
番当日全校生徒の前ではとてもきん
ちようしました。おもいきって今ま
で練習してきたように声を出して応



援をしました。声がかかるほど声を出
しました。運動会最後の競技の縦
割り対抗リレーでは特に応援をがん
ばりました。たくさん練習して必死
に応援したかいがあり、小学校生活
最後の運動会は勝つ事ができまし
た。運動会を通してわかった事はた
くさん準備してあきらめずに取り組
む事が大切だということです。中学
校に行ってもこの運動会で学んだ事
を活かしてがんばりたいと思います。

2025/05/23 20:39

令和7年度 西諫早中学校体育大会

体育大会で感じた 協力した所と成長した部分

3年1組 大我 ゆめ

体育大会で感じたことは、全員が協力して体育大会を出来たことです。特にリレーのバトンパスはクラスで共通して速さを落とさないようなバトンパスを全員で心がけました。リレーでは仲間と力を合わせて全力で走り、2位という結果を残すことができました。台風の日では、最下位だったけど全員で協力する事の大切さを学ぶ事ができました。今



回初めて実行委員としてクラスのみんなを指示して動いてもらう大変さを実感しました。また3年生は部活の後輩の活躍姿を見るために応援も1・2年と比べて成長したと感じました。

最後の体育大会を終えて

3年2組 佐田 佳央里

私が体育大会を終えて、よかったと思う点がいくつかあります。

まずは、行動面です。3年生は全員、移動の時にかけ足で移動することができていたことや並ぶ時にすばやく並ぶことができていて、最学年としての自覚をもち行動できてよかったと思います。

また、全員で協力して全力で学年種目やリレーをしたり応援をしたりしていて、学級の団結が体育大会を通してさらに深まったと思いました。最後の体育大会を楽しんでいた思い出として終わったのでよかったです。

体育大会の学び

3年3組 川嶋 優星

僕は体育大会で学んだことがあります。それは、台風の日や全員リ



レーで大切な団結力です。台風の日

が変わり学年練習では1位で団結力がより強まりましたが本番は2位という結果でくやしかったです。全員リレーでは、バトンパスの練習や走順を決めたりして本番にいとみ練習以上の団結力で1位になりました。この体育大会で学んだ団結力を今後の学校生活に活かしていきたいです。

心を一つに

3年4組 阪口 寛志

僕は、今回の体育大会で実行委員として学んだことがたくさんあります。

その中で特に大切だと思ったの

は、みんなで心を一つにすることです。体育大会の数日前まで、当日は雨予報でした。でも、みんなで晴れを願ったおかげで延期することなく開催することができました。そして、僕のクラスの人みんなで一番力を入れた学年種目では、全員で心を一つにして優勝することができ、とてもうれしかったです。

中学校最後の体育大会を、心を一つにして楽しめて良かったです。

笑顔でおわった、最後の体育大会

3年5組 多比良 優海

今年の体育大会は、1週間前まで雨予報でしたが、みんなの願いが届いて無事に開催することができました。私はこの体育大会で応援の大切さを改めて実感しました。西中タイフーンをする前のかけ声でクラス全体が一つとなって私たちの気合いがMAXになりました。競技に出る前に、女子のみんながお互いのハチマキを結んでいる姿を見て、体育大会をすることで普段あまり話さなかったクラスの人も自然に会話が生まれました。これからは、残りの中学校生活を大事にして1つでも多くの思い出を作り出していかれたらと思います。

我が町の元氣な高齢者

花と恋して

68年

山川町 陣野 信孝

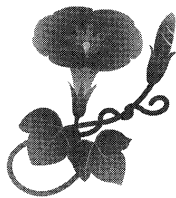


私は今年86歳を迎えております。森山町田尻で農家の次男坊として生まれ、小・中学校までは片道3、4kmで、9年間徒歩で自然豊かな道を楽しく通学しました。この9年間の徒歩通学が私の自然志向のもとになったと思います。

長崎大学を卒業1年後、長崎大学の教員として採用され、42年間懸命に努めました。その後も地元の植物を中心に観察・採集を行っていています。この間の努力が標記を意味しています。

大学退職後は、県下各地の子供たちや町内の子供たちに公民館や拙宅で、「楽しいサイエンス」を教えております。

前年から西諫早小学校の「地域子ども教室」にも参加して「楽しいサイエンス」を教えております。児童・生徒のびっくりするほどの歓喜・感動には驚いております。



子ども食堂への想い



まんぷく 子ども食堂
吉岡 勝行

子どもが1人で立ち寄る事が出来る食事提供の場として子ども食堂があります。共働き・ひとり親家庭で親がご飯の時にいなかったり、家庭の収入が少なくて満足にご飯が食べられなかったり、子どもが安心して食事が出来る場として広がりました。昨今の物価高で生活困窮者が増えているのも事実です。子ども7人に1人が生活困窮者と言われている中で「食」は健康と発育の源であるとの思いでお腹一杯食べてもらいたいです。地域の婦人会・高校生・大学生のボランティアで葉物根物野菜・発酵食品を中心とした昭和のおふくろが作ってくれた味を提供しています。最近子どもと高齢者との居場所づくりとしての役割も果たしています。

全国的に子ども食堂が注目

される中、行政・民間・農家の皆さんから食材の寄付があり活動への理解と協力も増えています。今後は「食」の問題は子どもだけではなく孤食・粗食・偏食など様々な食を通じて支援が多くの方に届くようにしていきたい。そして地域の方にはこの様な活動があることを知ってもらい子どもを支える支援の輪に入っで欲しいと思います。

今後は子どもの成長の一助になればとの思いで、ボランティアの皆さんと頑張りたいと思います。



北部地域包括支援センターより

「このような生活上の

困りごとありませんか？」

社会福祉士 古賀 瑞絵

・年金の範囲内で計画的に生活できていたのに、やり繰りが難しくなった。

・物の管理が難しくなり、何度も通帳を再発行してしまつた。

・役所の手続きが難しくなった。

などの生活上の困りごとはありませんか？

家族のサポート（役所の手続きを手伝ってもらえる、お金の管理の相談に乗ってもらえる等）が受けられれば、まずはご家族にご相談されてください。

でも、家族が遠方だったり頼れる親族が身近にいない場合、ご本人様に代わってお金や財産を管理したり、必要な手続き（介護サービス利用のための契約等）をしてくれる制度があります。「成年後見制度」です。

地域包括支援センターは介護相談だけでなく、「成年後見制度」の相談も受け付けております。お気軽にお話を聞きたいと思っています。

編集後記

小学校、中学校の運動会・体育大会が児童・生徒さんが元氣な声をひびかせながら開かれました。特に入学して間もない小学1年生の動作は可愛く感動しました。今回はボランティアで頑張っていたいただいている子ども食堂の記事ともお届けしました。梅雨が明けると猛暑の夏です。懸念される熱中症に気を配り、元氣でお過ごしください。そして次号をどうぞお楽しみに。

広報部